

そうぜんじ便り

19世 俊諦和尚筆

第159号

令和7年正月号

宗禅寺 宗派 臨濟宗 建長寺派

住職 高井正俊 徒弟 高井和正

羽村市川崎2-8-20
TEL 042-554-1276
FAX 042-578-3525

新しい一年を迎えます。二月二日の立春の節分は、旧暦では新春正月にあたります。新しい年を迎えるにあたり、豆(魔滅)を撒いて邪気を払い、福を招きましよう。当日はご来山いただいた全体的お子様が壇上から豆を撒くことができます。お誘い合わせの上、ご参加下さい。無邪気な心を皆で持ち帰りましょう。

令和七年二月二日(日)午後四時から 雨天決行

せつぶんついな
節分追儼

川崎一本木堂新春豆まき会

【式次第】

鎌倉流御詠歌奉詠 新春追儼祈祷法要

お子様による豆まき

年男・年女の皆様による豆まき

※ご来山いただいた全ての皆様に福豆を謹呈。お子様にはお菓子をプレゼント。

※厄払い特別祈願ご希望の方は志納料一万円にてお申込み下さい。

※節分祈祷の御札は一本二千元です。同封の専用ハガキにてお申込み下さい。

※皆様にお配りする節分の景品も随時受け付けております。

*春の文化展の日程が決まりました。三月二十日(水・祝)～二十三日(日) 四日間開催です。

謹賀新年

本年も一年間、よろしくお願ひ申し上げます

宗禅寺 高井正俊・淑子

高井和正・綾子

総代 大野元雄・中村修

雨倉久行・中村勝司

新井敏行・大野泰広

薬師講会長 秋山一男



劇団 水族館劇場

新春境内路上芝居

さすらいの姉妹

冒険活劇『同じ心に聖と月』

原作：桃山邑 演出・脚色：千代次

劇団創設者である故・桃山邑原作の冒険

活劇がついに登場。

大楠の洞をくぐり抜け、この時代に辿り

着いた国栖の女盗賊真玉とその手下瘤八。

彼らの狙うところは？次期戦闘機か？はた

またLGBTQ代表との対決やいかに。

時代を貫く義憤に燃える心に乞御期待！

日時：一月三日(金)

午後二時

観劇料・投げ銭にて

薬師如来大祭ご報告

去る十月五日に薬師如来大祭を開催致しました。このお祭りは、境内にある薬師堂に祀られているお薬師様を讃えるお祭りです。ご存じの方も多いと存じますが、宗禅寺境内にある薬師堂は宗禅寺の歴史よりも古く、お寺が存在する以前から羽村川崎の土地に鎮座されておりました。現在の御堂は室町年間に再建されたもので、羽村市内でも最古の建造物ということになります。

お祭りは地元檀信徒を中心とした薬師講中の皆様によって運営され、手作り舞台がお祭りの賑わいを産み出してくれています。

今回のお祭りも奉納舞台では、川崎囃子連、川崎太鼓保存会、子供達の日本舞踊（山藤流）、羽村のフラメンコ教室の皆様（エルムンド）、民謡歌手の伊庭末男さんといった地元地域の皆様に加え、プロバルーンアーティストのバルーンポポさんと、伊豆河津の建長寺派栖足寺の千葉住職のサククス演奏などが華を添えて下さいました。

当日はあいにくの天候となつてしま

ました。いつもなら本堂内での開催となるところでしたが、薬師講中皆様のご判断により、大きなシートを屋根に急ごしらえして下さい、例年通り屋外での開催が実現できました。

薬師如来は皆様の健康を司る仏様です。いつでもお手を合わせに来て下さい。薬師様が皆様の心に息づいて下さることを願っております。



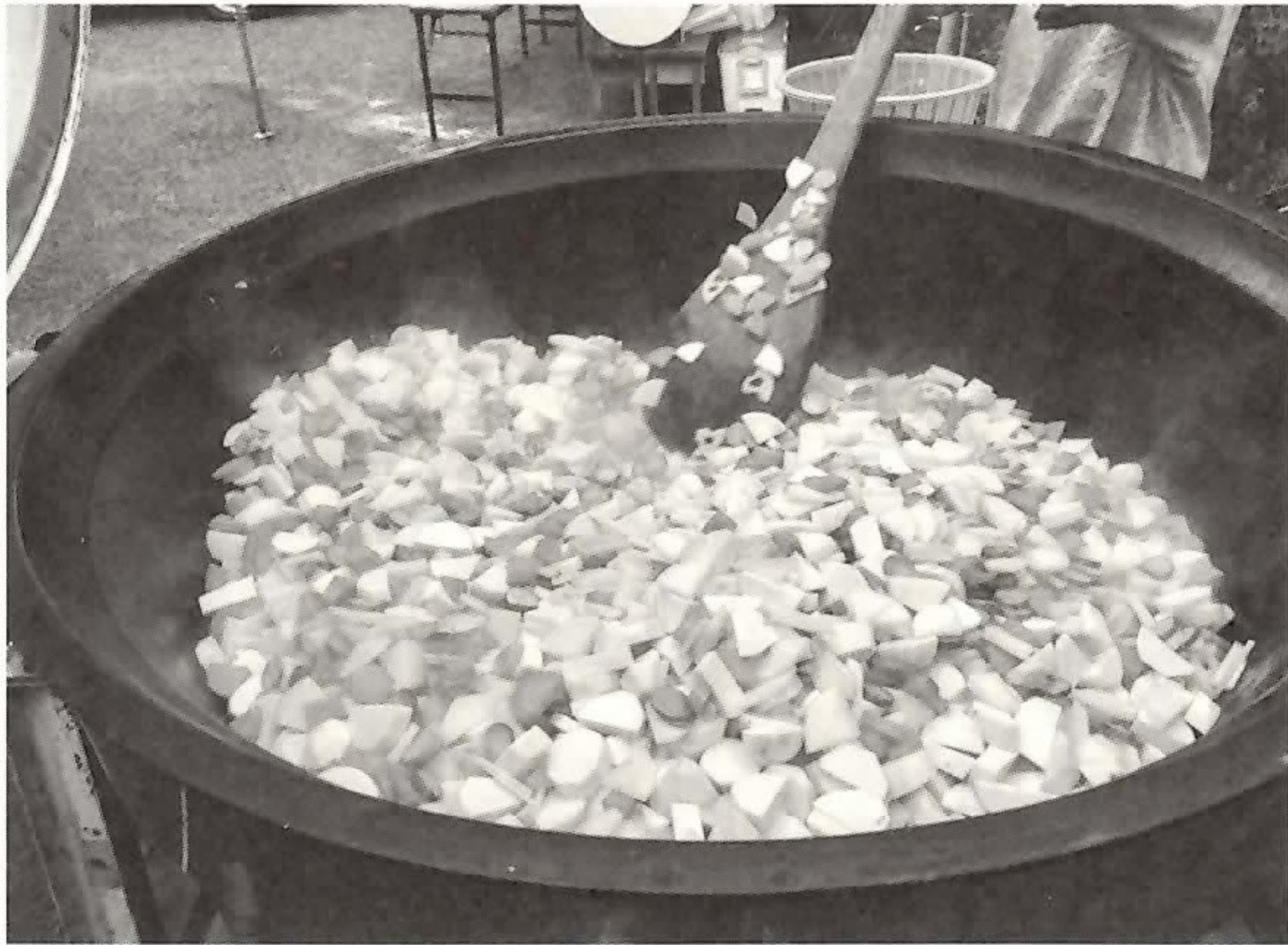
当日はあいにくの天気となりましたが、薬師講の皆様が大きなシートで屋根を作ってください、屋外での開催が実現致しました。



伊豆・河津の栖足寺和尚によるサククス演奏。今回は地元雨倉千代美様と急遽コラボ。息の合った演奏をいただきました。



久しぶりに来て下さいましたバルーンポポさん。バルーンショーで子供達に作品をプレゼントしてくれました。



無料で振る舞うけんちん汁。けんちん汁は建長寺が発祥で、神奈川県郷土料理にも指定されています。

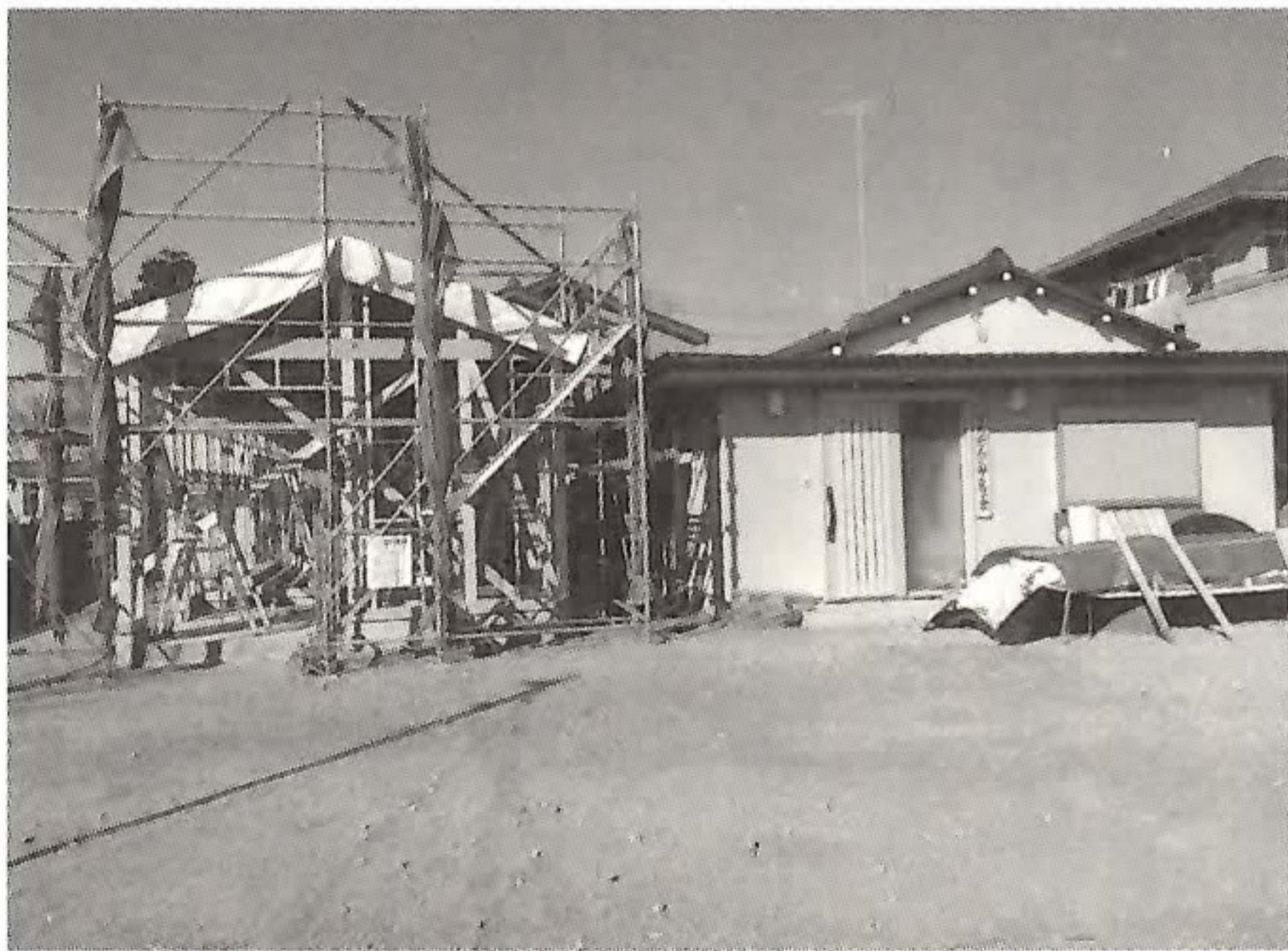


地元川崎の囃子連皆様。毎回御奉納いただいています。

宗禅寺みんなの家 学び舎 新築報告

裏の駐車場に併設されている宗禅寺みんなの家。その隣に新しい建物を建築致します。「学び舎」と呼びます。去る十一月二十六日には総代さんに集まっていた、ささやかな上棟式を執り行いました。建物の中身は学校の教室をイメージした場所として、各種集まり、会議等にご使用いただけます。子供達の居場所づくりとして、リアルてらこやがお寺で開催されていますが、子供達の自習室としても活用して下さるのでは思っております。

リアルてらこやに限らず、現在多くの団体がお寺を活用して下さっています。地域の皆様でご利用をお考えの際は、住職に相談下さい。



みんなの家墓地側に建築中の学び舎

同封の般若札について

はんにゃふだ

檀信徒の皆様方へのお正月のお便りには般若札を同封しております。

般若札は新しい一年の安泰を祈る大般若祈祷という法要での法力が込められている御札で、玄関に貼っておくと魔除けの効果があるといわれている御札です。

宗禅寺の般若札にも

天下安全 世の中が平穏になり

五穀豊登 五穀は豊かに実り

火盜潜消 火盜はひそやかに消える

萬民和樂 万民が一つに和して

諸縁吉利 様々なご縁に恵まれる

と書かれています。

新しく始まった一年が皆様にとって素晴らしいものとなることをお祈り申し上げます。

く 三寶證明 天下安全 五穀豊登 火盜潜消 醫 王山
奉轉讀大般若經六百卷懇祈
 諸天洞鑑 佛法紹隆 萬民和樂 諸縁吉利 宗禅々寺

宗禅寺のしていること、 目指すこと

住職 高井正俊

旧年中は皆さんの御奉仕、御協力の元に節分の豆まきや薬師大祭など様々な行事を執り行うことができました。有り難いことです。宗禅寺はおかげ様でお寺の形が整いつつあります。先住の高井俊諦和尚が昭和二十年に新潟県湯沢町からお寺に来て以来、今年で八十年目を迎え、檀家さんも当時の二〇〇軒から九〇〇軒になりました。川崎の村の方々や、檀信徒の方と共に、形づくってきたものが現在の姿です。

宗禅寺は総代会（六人）、護持会（十三人）、薬師講（七十六人）、寺子屋委員会（十人）、女性サンガの会（四十人）が支えて下さり、宗禅寺の五大大行事（節分豆まき、春の文化展、盂蘭盆施餓鬼法要、薬師如来大祭、除夜の鐘）を荷って下さっています。

そして、お寺の財産としての各建物（本堂、客殿、禅センター、みんなの家、太子堂）を活用して、実に様々な催しが地域の皆様によって開かれています。最近では、リアルてらこやの名前で子供達への支援事業がらむぎハウスという団体の運営

により、多くのボランティアさんのご参加を得て行われています。又、能面師の新井達矢先生の木彫・能面教室、園部多恵子さんによる本堂でのヨガ教室、将棋クラブ、俳句の会、健康体操、新聞サロン、心の相談室（タロット占いセラピー）、平家琵琶を聴く会（一部平家）、くれよんの会、ポコアポコ（不登校児を持つ親の会）。皆さんが自ら手を挙げて各会が開催されています。もちろん、お寺主催の坐禅会、御詠歌、土曜講座、写経会、寺子屋委員会も定期的に行われています。こんなことが出来るお寺になったことを、関係者皆様に深く感謝をしている次第です。

お寺が沢山の皆さんに支えられ、活用され、しかもそこに参加をすることによって参加者の心の平安が保たれていることが、大事なことだと思えます。葬儀や法要も丁寧に行って、出席されている方が儀式の内容を理解でき、なおかつ生きていくことの大切さを実感していただけるようになるよう心掛けています。法要ではイス坐禅も始めました。

これからも寺族はじめ、役員の方や各団体の方と共に、みんなのお寺として活動を続けていきます。

どうぞお寺の催しに檀信徒に限らず、皆さんおでかけ下さい。

坂本長利さん一周忌

五大路子さん

朗読の会開催致します

坂本長利さんという俳優さんを覚えてらっしゃいますか。『土佐源氏』という独演劇を宗禅寺の本堂で披露して下さった俳優さんです。昨年鬼籍に入られてしまいました。したが、御縁もあつて一部のお遺骨が宗禅寺の永代供養塔に納骨されています。

坂本長利さんのご縁を振り返り、三月に生前の面影を偲んで親交のあつた俳優の五大路子さんの朗読会を本堂で行います。事前のお申し込みは不要です。当日、お集まりください。

【五大路子さん 朗読会】

日 時…三月十六日（日）

開 場…午後一時半

開 演…午後二時

参加費…お一人様千円にて

式次第…高崎洋子さんの篠笛

五大路子さんの朗読

※事前申込ご不要。

参加費は当日のみ
お受け致します。



【らいむぎハウスから皆様へ】 令和六年のリアルてらこや 活動を振り返って

十二月十四日のリアルてらこやクリスマス会を以って令和六年の活動が全て終わりました。昨今は子供達の貧困が云われるようになり、リアルてらこやのような子ども食堂や居場所づくりのような活動は全国に見られるようになりましたが、弊団体が毎月安定的に活動を継続してこられたのも、会場をご提供下さっている宗禅寺様の寛大なるお気持ちの賜物であると深く感謝を申し上げます。

八月の夏休み中のリアルてらこやでは昨年引き続き平日に三日間連続開催を実施しましたが、多い日で一日一二〇人の子どもたちが参加をしてくれ、運営側としては嬉しさを感じる反面、責任の重大さも感じております。毎月の平均参加者も五十人となり、右肩上がりで開催してくる子供達が増えており、広々とした宗禅寺客殿が子供達で溢れています。

集まってくれる子供たちが増えている分、大変になるのは食事を準備する台所です。以前は日によってはスタッフの数が心許ない時もありましたが、現在は台

所だけで常に4〜5人のボランティアさんが集まって下さり、当日何人集まるかわからない子供たちの食事の提供を安定的に行うことができるようになりました。また、子どもたちはただ食べるわけではなく、希望する子どもたちには調理を一緒に手伝ってもらい、自炊できる力を育てていければと願っています。

そして財務的な部分も大きな課題です。弊団体の活動費のほとんどは助成金で賄われていますが、参加してくれる子供たちの増加とともに、活動運営費も同じように増大しています。今年度はカゴメみらいやさい財団様と羽村市市民提案型協働事業（羽村市地域振興課）の助成金が主だった財源になりましたが、新しく迎える年度に同じ助成金に採択されるかの保証は当然ながらありません。広く地域の皆様のご理解を得ながら、地域の皆様からの寄附金等、ご支援を増やしていければ理想的だとも思っております。

リアルてらこやは無償での学習支援を行っていますが、勉強だけではなく子供達のがびのびと思いに自由に過ごせる空間づくりを意識しています。学校とも家庭とも違う場所に身を置くことで、日頃とはまた違う自分に出会えることができる場所です。学校の雰囲気にならな

い子どもでも、ちゃんとした居場所があるということ、自分が必要とされている人間であることを感じてもらうための場所になればと思っております。

新しい一年も宗禅寺様をお借りして毎月二回開催をしていきます。皆様、よろしくお願い致します。



市内の JAM カイジョー様からの繋がりでもカシオ計算器の組み立てを体験しました。



12月クリスマス 本堂でみんなで合唱。終わってから1年の感謝の般若心経をご本尊様にお唱えしました。



消費者センターさんとの連携で希望者に洋服を無料配布。バザーも開催しました。



だミに。ン参加してくれま
いたお菓子やミ
各所からいただいたお菓子を大勢のボランティアさん

文庫長だより 島田 秀男

江戸時代の川崎村の概要について、お話ししたいと思います。

江戸時代の人口の八割前後は、村に住む百姓身分の人々で占められ、残りの一割弱が武士、後の一割程度が職人や町人などでした。村は、百姓たちが家族でまとまって日々の暮らしを営む生活と生産の場であると同時に、領主が百姓たちを把握するための支配・行政の単位でもありました。

大名・旗本など武士の領地の規模や百姓の所持地の広さや村の規模は、石高によって表示されます。石高とは、田畑・屋敷地などの生産高（年貢高）を玄米の量で表したもので、検地（土地の調査）で定められました。一八〇―一九世紀平均的な村は、村高（村全体の石高）は四〇〇―五〇〇石、耕地面積五〇町前後、人口四〇〇人でした。

川崎村では、宝暦十一年（一七六一）、村高約三六四石、耕地面積約八八町。天

保九年（一八三七）、人口四八八人でした。

このことから、江戸時代の川崎村は平均的な村であったといえます。村人の身分としては百姓でしたが、一部には僧侶・神職も含まれていました。百姓身分のなかにも、畑などの土地を所持する本百姓ほんびやくしやうと、土地を持たない水呑などの階層区分がありました。

川崎村は、畑で米・小麦・大麦などのほかに、大根・かぶ・そば・芋などをつくっていました。農業以外に商工業・奉公稼ぎ・運送業・日雇いなど多様な生業を兼業していました。江戸時代の百姓は、兼業農家であることが一般的でした。

百姓には、検地によって登録された土地に賦課される年貢ほんものなり（本途物成）をはじめ、野・山・河の産物や商工業の収益にかかるとる年貢こものなり（小物成）などを負担する義務がありました。領主が毎年、村単位に年貢の総額を記載した年貢割付状ねんぐわりつけじょう（納税通知書）を発行し、あとは村人たちが自主的に各自の負担額を確定し、名主が村全体の年

貢を取りまとめ上納しました。このように年貢は村の百姓の連帯責任で納入させる方法をとっていて、この制度を村請制むらうけせいといえます。

村の運営は、名主・組頭・百姓代の三者で構成されています。名主は、村政の最高責任者。村をおさめ、村に割り当てられた年貢を納め、村人の数や宗教などを調べ、村内の取り締まりや領主からのお知らせを徹底させるなど村政全般の仕事をしました。

組頭は、名主の補佐役です。百姓代は、名主・組頭の行為を監視し、名主らが年貢やその他の費用を割り当てるとき、立ち会って公平にするようにしました。

川崎村は、幕府領と蒔田氏まいた、油川氏あぶらかわ（後に武田と改姓）、柘植氏つげの三名の旗本の領地でした。柘植氏は明和二年（一七六五）に行方をくらましたので、幕府領に編入されました。

一つの村を複数の領主が割り当てられている状態を相給あいきゅうといえます。旗本が大

量に配置された関東では、多くの相給村がみられます。川崎村の領主は四人いましたから四給の村でした。羽村や五ノ神村は幕府領のみでしたから、一給の村でした。

川崎村の領主の支配形態を見ていきますと、村を地域ごとに分けて、そのひとつの集団をひとりの領主が支配するのではなくて、領主ごとに石高に応じて名請人（耕作地の所持を認められ、年貢負担者として検地帳にその名を登録された百姓）を決めて支配するかたちでした。

たとえば、自分の家はA領主に支配されているが、右隣の家はB領主、左隣の家はC領主に支配されることです。百姓は、それぞれの領主によって分割されていたわけです。

川崎村が一つのまとまりとして機能していたのは、庭場にわばでした。後川組、川亀組、名称が不明の組の三つの庭場がありました。庭場のメンバーは、地縁・血縁の集団でもなく、同じ支配領主の集団でもな

い新たな集団（相互のつながりは不詳）で構成されています。

庭場は昭和三〇年代まであり、冠婚葬祭に際して必要な道具を共有財産し保管し、貸し出していました。

庭場のはじまりは、江戸時代までさかのぼることができます。庭場では村の基礎的な単位として、神社の祭礼や年中行事に関することや婚礼の祝いや葬式なども行っていました。また、道普請の共同作業や災害時の助け合いなど村のさまざまな出来事に、その機能が発揮されました。

江戸時代の村は、生活組織であるとともに生産組織でした。村が一体的に機能していなければ、百姓は生きていけなかったのです。庭場を通して、村人たちは密接にコミュニケーションを図っていたのです。

《参考文献》

渡辺尚志 『近世百姓の底力』

『福生市史』

連続掲載詩集『春の旅人』 『夕月』

いちめんの麦です

夕月が

母のからだをぬらしています

坂をあがった

寺の東の畑に

麦を刈る母がいるのです

父は進駐軍の仕事から

まだもどってきません

ぼくは

まちわびるいもうとやおとうとに

インスタントラーメンをつくってやります

夕月が

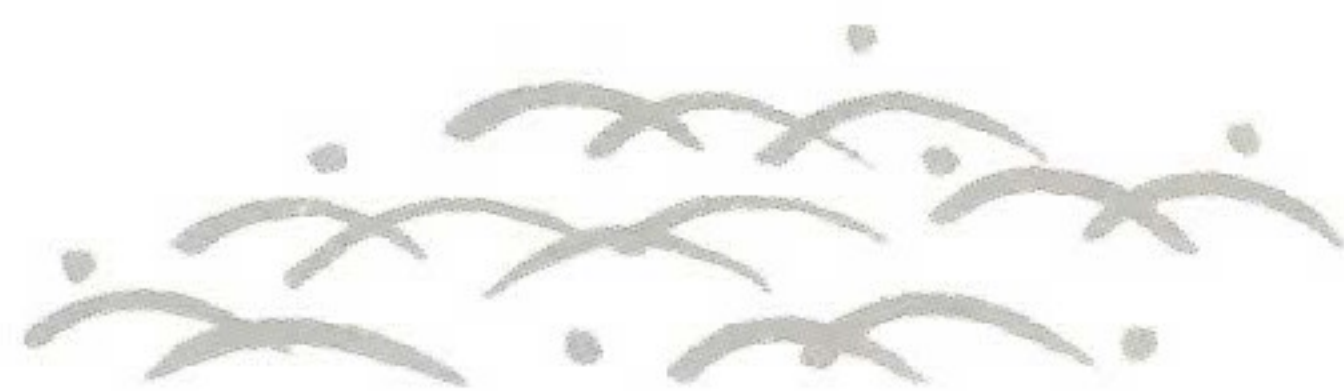
だれもいない縁側をぬらしています

たあいがない記憶の中で

母はいまも

麦を刈っています

島田博雄著詩集『春の旅人』より



寺門清風 正俊記

●新年あけましておめでとうございませう。今年も皆様と共に寺族一同、頑張つて寺のことに取り組んでいきます。本年もどうか、よろしく願ひします。

昨年九月からのふりかえり、寺務報告です。気軽にお読みください。

へ九月

○一のつく日の写経の会、十五人。坐禅会や寺の行事にお出で下さった。ゲリット・スレンブルク氏の通夜、寺で。

○火曜日の御詠歌講の練習日。十一人。コロナ後、久し振りに皆でお茶。四時、寺子屋勉強会。薬師祭備品点検して下さる。

○鎌倉から鎌倉塾の方来山立国ゴルフ。終わって寺で意見交換会。市役所でマイナンバー・保険証登録。 9/4

○虎ノ門病院、定期検査。寺ヨガ十五人。病院の帰りに「たまたま箱」に寄る。 9/5

○鎌倉、調理学会発表支度。みんなの家で健康体操。十人。 9/6

○鎌倉女子大で日本調理学会「禅と食事」のお話。寺で土曜夕方坐禅会十人。 9/7

○ゆとろぎで孫、ルリ・カノのピアノ発表

会へ。皆、ういういしい。 9/8

○稲垣歯科へ。入れ歯点検。除草少し。 9/9

○建長寺で鎌倉食を学ぶ会。カヤック柳沢大輔「街の社員食堂など」ていねいに正直に話してくれる。浅葉日記は山田さんと瀬川先生。楽しい。 9/9

○和正和尚、災害支援で酒田(三日間)。私、身体に疲れが出ている。 9/10

○彼岸新聞発送九五〇通。写経会開始前、イス坐禅を始める。除草。 9/11

○淑子・綾子でたより。五〇〇通発送。 9/12

○護持会彼岸掃除十五人。リアルてらこや百人。平曲二十人。坐禅会十人。なんとも多彩な一日 9/14

○青梅玉泉寺へ出産祝いに、淑子、綾子、私。建仁寺の宗運管長、白血病。心配。 9/18

○彼岸会に入る。毎朝六時から坐禅会。お参りの人多し。除草あちこち。体にはきつくなる。 9/19

○第九十四回土曜講座。一時イス坐禅、菊地玉雲講談「玉川上水物語」。お話「羽村の水について」聴衆十五人。もつと聞きにきて欲しい。写経十人。 9/21

○福生JC歴代会で寅勝へ。 9/24

○リアルてらこや平日開催。五日市真光院、西野禅育老僧通夜。 9/25

○鎌倉禅研究会。ホウタン、衣川先生。終わって尾崎で歓談。 9/26

○体調なぜかよくなる。嬉しい 9/27

○麟祥院で臨済禅師勉強会。 9/30

へ十月

○写経の会。御詠歌練習快気祝 10/1

○薬師如来大祭。雨少し降るが、薬師講の皆様力で屋台・舞台とも見事に進行。人の出あしもよい。来山者、四〇〇名くらいか。感謝感謝です。 10/5

○朝粥坐禅会。お祭り片付け。鎌倉食の会で建長寺へ。 10/6

○虎ノ門病院。定期検査。優。 10/7

○京都建仁寺で湊素堂忌。宗運老師元氣。次の日は禅文化研究所の六十周年祝賀会、ブライトンホテル 10/9

○平家物語(平曲)、リアルてらこや、玉泉寺さん七回忌、坐禅会など。 10/12

○寺子屋勉強会八人で二時間土曜講座―青梅線と八高線のこと―。 10/15

○島田博雄展の相談。土曜坐禅会。 10/19

○写経の会客殿で。イス坐禅、お経も。夜は禅センターで恒例の尺八 10/21

○ミスミ建設、裏の学び舎基礎工事に来。工事いよいよ。福ら笑と市役所が来てオレンジカフェ打合せ。 10/22

○瑞穂・福正寺康文和尚晋山式。 10/26

- 和正和尚、東北水害復旧支援。山形県酒田市へ。 10/27
- 薬師堂裏駐車場の柿美味い 10/28
- 大野泰広家より玉石四五〇個いただき、ミスミ建設さんに駐車場の植え込みに据えてもらう。美事に並ぶ 10/31
- 〆十一月
- 鎌倉塾来山。立国でG。後、寺で懇談会。大野泰広さん参加。 11/1
- 寒い日、終日本読み。土曜坐禅。 11/2
- 星野造園。ミスミさん工事 11/5
- 虎ノ門病院。ミスミコンクリート入れ。 11/7
- 身体の調子戻って作務楽しい 11/8
- 平曲。阿方葵さん来る。土曜坐禅、法事の始めのイス坐禅、定着。 11/9
- 湯島・麟祥院月一臨済勉強会。横田管長、小川隆先生に感謝。 11/18
- 鎌倉浄智寺で三木卓さん偲ぶ会。次に読売ホール禅を聴く会へ。 11/19
- 携帯電話を淑子と共にガラケーからスマホに変更。四時寺子屋勉強会。 11/20
- みんなの家、毎週健康体操。 11/22
- 和正和尚、消防団日帰り旅行へ。土曜坐禅会、寒い中十三人。 11/23
- みんなの家「学び舎」建前 11/26
- 鎌倉塾完了式。建長寺坐禅、交流研修会、

- 点心庵で盛大な祝賀会。鎌倉泊。 11/27
- 建長寺、鎌倉禅研究会。芳澤・橋本先生。建長寺七五〇年遠諱など。 11/28
- 境内・建物維持費、たくさんの方が持参して下さる。有り難い限り 11/29
- 土曜講座。イス坐禅、菊地玉雲師講談。五日市憲法・卓論伝。二十五人聴衆の方多く盛り上がる。土曜坐禅 11/30
- 〆十一月
- 朝粥坐禅会。ナント十二人。写経の会十三人。薬師講忘年会三十一人、お祭りの報告と反省。多くの方でお寺が盛り上がった。 12/1
- 来年の諸会の予定を作り出す 12/2
- 福生吉田寿司で建長寺派東京三部寺院の忘年会。若手多く… 12/3
- 眼少し不調で、順心眼科へ。後発白内障の手術三分間。次の日点検。良 12/4
- 順心眼科へ。寺ヨガ参加二十三人。午後一時高校小クラス会六人。 12/5
- 高井家、母ヨキ十三回忌。総代さん、御詠歌講の皆様と。お釈迦様がお悟りを開いた日（成道）でもあるので、お釈迦様のご詠歌も奉詠されました 12/8
- 建長寺鎌倉禅研究会。講師は若手二人。鎌倉禅居院・建長寺派教学部長の山名田紹山和尚と足利の福巖寺采澤良晃和尚。

- それぞれ『大鑑清規』と建長寺開山・蘭溪道隆和尚について講義。 12/12
- 鎌倉食の会。山田雅子さんの元旦と五節句の伝統食のお話と、お屠蘇を自分で配合するワークショップ。実際のお屠蘇は漢方薬も使用されているので、素人の我々は食品を代用。桑の葉、オレガノ、クローブ、ドクダミなど全て手作り用意。 12/17
- 羽村農会 農業をされている皆様に集まっていたいただきお寺で懇談会。農家の皆様からの視点で羽村を魅力ある町にするにはどうしたらよいか。活発な意見交換がありました。 12/18
- 護持会歳末境内掃除、除夜鐘支度。護持会の皆様と薬師講役員さんによる境内掃除。節目節目でお墓に上がっている枯れ花を回収しています。午後は宗禅寺活動納会。お寺で活動している各会の皆様で。 12/21
- 淑子と小旅行（台湾） 12/23
- 除夜の鐘 12/31
- 今年も皆さんのおかげで無事一年終了。ありがたい限りです。又、本年もどうぞよろしく。 総代・寺族一同

宗禅寺毎月の活動

—お寺で本当の自分に気づく—

- 朝粥坐禅会…… 毎月第一日曜日 朝6時～8時 坐禅後に禅の食事作法に則ってお粥をいただきます。ご予約ご不要です。※1月は12日に開催します 1/12 2/2 3/2
- 子供坐禅会…… 毎週土曜日18時～19時 要予約:宗禅寺まで 042-554-1276
- 土曜坐禅会…… 毎週土曜日19時半～20時半 足にご不安の方には、イス坐禅もごございます。ご予約ご不要です。※1月4日はお休み、1月11日から始まります。
- 土曜講座…… 毎月1回開催の公開講座。毎回13時～16時。地域文化と財産の再発見に。
- 写経会…… 毎月1の日(1日、11日、21日)13時～15時般若心経写経。支度片付けは全員で。※3月21日は春の文化展開催のため、お休みいたします。※正月元旦はお休み。11日から開催です。
- 鎌倉流御詠歌…… 毎月第1第3火曜日13時半～15時ホトケのココロを歌に乗せて 指導:高井淑子
- 手打ちうどん教室…… 現在2クラス開講中。各クラス月1回。講師:島田辰夫先生
- いきいきヨガ…… 毎月第1第3木曜日10時～11時 予約不要¥500 要ヨガマット、水分補給飲料 講師:園部多恵子さん <https://www.instagram.com/tae.yoga/>
- リアルてらこや…… 毎月第2土曜日午前中 主催:らいむぎハウス 問い合わせ090-5542-6159(水野) 子どもたちの学習支援、居場所づくり、こども食堂。ボランティア募集中。 raimugihouse2021@gmail.com 毎月1回第4水曜日平日午後の開催も始まりました。 <https://www.instagram.com/raimugihouse/>
- 新聞サロン…… 毎月第4土曜日13時～14時 新聞を使って自分の世界を楽しく広げましょう。お子様のご参加大歓迎。要予約 鹿野川喜代美 042-554-7343 090-6549-0751
- 木彫教室…… 毎月第2第4土曜日 13時～16時 講師:新井達矢先生 見学可能 仏像や能面を彫ってみませんか? 月謝5,000円(道具、材料費は要別途) 新井達矢先生ブログ <https://ameblo.jp/tapazya-1982/>
- 宗禅寺俳句会…… 毎月1回適宜(主に毎月第3月曜日13時半～15時) 問い合わせ:中野つたえ 042-554-2444
- 尺八吹禅の会…… 毎月第1第3月曜日 19時半～21時頃 坐禅15分、練習60分 問い合わせ:坂井陵童 042-554-3273
- 宗禅寺将棋クラブ…… 毎月第3日曜日13時半～16時半 老若男女問わずご参加下さい。お子様の御参加も大歓迎です。 問い合わせ:新井政昭 090-3089-3011
- お寺deこころの相談…… タロットを使用した心理セラピー・カウンセリングです ハムサまで 毎月第一日曜日13時～18時 要予約 090-6792-4784
- 平曲を聴く会…… 毎月第2土曜日、日曜日13時～16時 平家琵琶を聴く集いです。参会費¥500 主催:一ツ目弁天会 問い合わせ:鈴木孝庸(たかつね) 090-1267-0864
- ▲介護予防体操…… 健康体操をみんなと一緒にいきます。会場はみんなの家です。 毎週金曜日14時～16時
- ▲くれよんの会…… 子育て中の親御さんの会。みんなでお話ししませんか?子どものこと、家族のこと、仕事のこと、そして大切な自分自身のこと。個別相談承ります。 代表:高井綾子 090-1034-4866 毎月2回13時～15時
- ▲ポコアポコ…… 登校拒否・不登校を考える親の会(羽村) 毎月第3土曜日10時～12時 定例会を開催中。問い合わせ:井出里美 090-9814-8752

寺子屋委員会・薬師講中・護持会・女性サンガの会 ——活動中です——

○禅センター・みんなの家 ご使用下さい □各会の会場:●宗禅寺 ○禅センター ▲みんなの家

土曜講座のお知らせ

“創ろう地域の文化を人から歴史から”のもと、月一回の文化講座です。予約不要、お茶代三〇〇円。どなたでもご自由にお出かけ下さい。

◆第九十八回 一月二十五日(土)十三時～十五時半

・イス坐禅 住職 高井正俊

・羽村観光協会観光ガイドの皆様は羽村の見どころを教えてください

羽村観光協会観光ガイドの皆様

◆第九十九回 二月十五日(土)十四時～十五時半

・宗禅寺 涅槃会(お釈迦様ご命日)

・お経と御詠歌でお釈迦様の供養

・涅槃会ハープ奉詠

ハープ演奏会 檀信徒 太田博子さん

◆第百回 三月二十九日(土)十三時～十六時

・イス坐禅 住職 高井正俊

・講談「耳なし芳一」 講談師 菊地玉雲 師

・「私が旅に出る理由」

・バルーン写真家 羽村川崎在住 菊田明里さん

※各会開始時間が違います。お間違えのないようご注意ください。

鎌倉禅研究会のお知らせ

鎌倉建長寺で行っている禅の勉強会です。ご予約ご不要。一月は会場円覚寺さんです。

入口で入山料五〇〇円、会場で資料代五〇〇円を納めて下さい。会場でお会いしましょう。

◆第二百五回 一月三十日(木)会場:円覚寺

・「禅の語録を読む」

駒沢大学教授 小川 隆 先生

・「イス坐禅」 円覚寺管長 横田 南嶺 老師

◆二百六回 二月二十一日(金)

・「鎌倉で学ぶ仏教と禅」

東京大学東洋文化研究所准教授 柳 幹康 先生

・「禅が伝えた道具の話―坐具について―」

駒沢大学講師 館 隆志 先生

◆二百七回 三月二十四日(月)

・「承久の乱と武家政権の確立」

鎌倉歴史交流館学芸員 鈴木 楓実 先生

・鎌倉禅研究会

「鎌倉御家人の造営と氏寺機能」

神奈川県立歴史博物館学芸員 渡邊 浩貴 先生

◆二百八回 四月十日(木)

・「鎌倉中期に於ける羅漢図」

鎌倉国宝館学芸員 中川 満帆 先生

・「蘭溪和尚語録を読む」

法政大学講師・建長寺研究員 彭 丹 先生

※時間は午後一時開始。午後四時半終了予定です。

鎌倉・食を学ぶ会 in 建長寺

鎌倉・食を学ぶ会もおかげさまで三年目に入ります。

今年からは二カ月に一回の開催となります。

二月、四月、六月……です。

どなたでもご参加できます。お出かけ下さい。建長寺入山料五〇〇円。会場で参加費五〇〇円をお願いします。

◆第十五回 二月十三日(木)十三時～十六時

・「料理屋の常識と非常識」

鎌倉 創作料理近藤主人 近藤 元人 さん

・「仏教と飲食をめぐる」

東京大学東洋文化研究所准教授 柳 幹康 先生

※共にめったに聞けないお話です。是非、お出かけ下さい。

【平家物語を平家琵琶で聴く会】

毎月第二土曜日、日曜日に宗禅寺客殿で開催

・二月十一日 十二日 ・二月八日 九日

・三月八日 九日

全て午後一時から四時頃

演奏:鈴木孝庸(たかつね) 荒井今日子

問い合わせ:鈴木孝庸090-1267-0864

宗禅寺観音募金

令和6年9月1日～12月19日まで

皆様からの募金、お賽銭をこのように使っています。ご協力ありがとうございます。

繰越	0円	
収入	76,000円	お賽銭
支出	50,000円	
内訳	10,000円	羽村市社会福祉協議会様
	10,000円	西東京臨済会災害支援部様
	10,000円	らいむぎハウス(リアルてらこや)様
	10,000円	あしなが東日本大震災遺児支援募金様
	10,000円	あきしまウクライナ友好協会様

繰越 26,000円